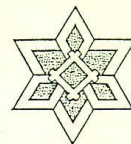


# ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和5年9月29日発行

(本年度7号)



創立150周年記念運動会

児童会テーマ：か・が・や・け！

## アサギマダラと運動会・・・

9月の中旬から少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。この時季にインフルエンザ等が流行の兆しを見せており、舞鶴市でも感染が拡大しています。油断せず、手洗いうがいを徹底するなど感染対策にも配慮しながら活動を工夫しつつ学習・行事を進めていきたいと思っております。

今年はフジバカマの開花が遅く、なかなか花が見られませんでした。アサギマダラが活動する適正温度は21度程度だそうです。やはり猛暑の影響で開花が遅れ、アサギマダラがやって来られなかったのかも知れません。9月22日には城北中学校区4小学校の3年生が旧青井小学校に集まり「アサギマダラ学習会」を実施しました。青井校区振興会・城北中学校区地域支援協議会の方にお世話になり、アサギマダラの生態について学習した後、フジバカマの畑へ観察に出ました。しかし旧青井小学校の畑でも開花が遅く、残念ながらアサギマダラの姿を見る事は出来ませんでした。後半は、同じ中学校区4校の仲間として、学校紹介をしたりゲームをしたりしながら、楽しく交流ができました。早くアサギマダラの姿が見られる事を期待しています。

来る10月7日（土）は「令和5年度 福井小学校創立150周年記念運動会」です。子ども達は本番に向けて、練習に励みながら準備を進めています。児童会種目や各学年の競技・演技もあり今年も楽しく見応えのある運動会になることを期待しています。

日本の運動会の始まりは、1874年(明治7年)3月21日に開催された東京築地の海軍兵学寮「競闘遊戯会」なのだそうです。当時の日本にはスポーツの概念が普及しておらず、体育の時間も馬術や武術、鍛錬が中心でした。そこで、イギリス海軍顧問アーチボルト ルシアス ダグラスが学生のストレスを発散させようと遊戯会を提案しました。当時の種目は「雀の巣立ち」や「ツバメのとび習い」…それって何？という競技ばかり。実は先の2種目は徒競走。その他「トビウオの水切り(幅跳び)」「ボラの網越え(高跳び)」「ふるダヌキのつぶてうち(玉投げ)」「トンボのかざ返り(棒高跳び)」「サギの魚ふみ(三段跳び)」など18種目が実施され、プログラムには競技の仕方や賞品なども記されていました。小学校では、鍛錬遠足で出かけ「旗取競争」や「兵式体操」などを行っていました。(福井小学校にも当時の写真が残っています。)大正時代に運動場が整備されると校内で娯楽性の高い遊戯やスポーツ性を重視した種目が実施されるようになりました。その後、時代とともに価値観が多様化し、幾多の変遷を経て運動会も様変わりしています。しかし、時代は変わっても学校の一大イベントには違いありません。

運動会では、子ども達は日常的には取り組まない事にも挑戦します。自分を鍛え様々な事を学ぶ絶好のチャンスです。できないことができるようになる過程は、子どもが成長していく道筋においてとても大切です。練習を積み重ね、子ども達の姿が逞しくなっていく様子を見るととても嬉しくなります。今年の運動会の児童会スローガンは「勝(か)ち負けにこだわらず、頑張(が)りぬくことでやり切ったかいがある！団結(け)してみんなで運動会を成功させよう。(かがやけ！)」です。友達と競い合いながら最後まで笑顔で頑張る子どもの姿が、たくさん見られる運動会にしたいと思います。ご声援をよろしく願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同

(※ 記載内容に一部誤りがありましたので、お詫び申しあげ、訂正させていただきます。)

